※令和４年度以降入学生用

学校番号	2001

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新詳「世界史探究」　（帝国書院）						
副教材等	アカデミア世界史　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史は繰り返す。歴史に学び、現代の世界を読み解く。現代社会が直面する諸課題について、主体的に考察し、よりよい社会を構築するヒントとする。
・これから世界をフィールドとして社会に出ていく際に、多角的な視野を持ち、異なる文化を理解し、尊重する姿勢を養うことができる。

2　学習の到達目標

・人類の営みを古代から学習し、繰り返されてきたグローバル化の特徴を理解し世界を読み取る。
・諸資料に基づき、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させる。
・歴史的思考力を高め、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養わせる

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件と関連付けながら理解し、その知識を身に着けている。	世界の諸課題を歴史的観点から考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、地域社会や異文化の歴史・文化を尊重し、国際社会に生きる人間として主体的に考察しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
二年一学期	東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質	・中華文明の形成 ・秦漢帝国と東アジア ・中央ユーラシアと遊牧国家 ・遊牧帝国の興亡と移動 ・ユーラシアの変動と東アジア	a:各王朝の特徴を理解している b:各王朝の特徴について考察し、自分の言葉で表現している c:東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を地主体的に追及しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート ワークシート
	南アジアと東南アジアの歴史的特質	・南アジアの文明と国家形成 ・東南アジアの社会と国家形成 ・	a:南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解している b:南アジアと東南アジアの歴史的特質について考察し、両者の共通点や相違点を挙げながら自分の言葉で表現している。 c:東南アジアの歴史的特質を主体的に追及しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート ワークシート
二年二学期	西アジアと地中海周辺の歴史的特質	・オリエント文明の興亡 ・地中海周辺の国家形成 ・地中海周辺と西アジアの帝国 ・ヨーロッパへ広がるキリスト教 ・イスラームの誕生	a:西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している b:西アジアと地中海地域周辺の歴史的な特質について考察し、自分の言葉で表現している。 c:西アジアンと地中海周辺の歴史的特質を主体的に追及しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート ワークシート
	ユーラシア大交流圏の成立	・イスラーム世界の拡大 ・ヨーロッパ封建社会の展開 ・東アジア諸地域の成長と自立 ・ユーラシア大帝国の出現	a:イスラームとモンゴルによって形成された陸と海のネットワークを理解している。 b:イスラームとモンゴルによるネットワークの広がりがユーラシアや諸地域をどのように変えたかについて考察し、自分の言葉で表現している。 c:ユーラシア大陸をつなぐネットワークについての理解を主体的に追及しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート ワークシート

※令和４年度以降入学生用

二年三学期	アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出	・明の国際秩序と東・東南アジア ・世界帝国しんとアジア諸国の成熟 ・スペインとポルトガルの進出 ・イスラーム世界の成熟 ・ルネサンスと宗教改革 ・主権国家の形成と「17 世紀の危機」 ・東欧諸国の台頭とヨーロッパ文化の成熟 ・イギリスとフランスの覇権争い	a:14～17 世紀にかけてアジア諸地域間の交易が拡大したことを理解している。17～18 世紀のヨーロッパの社会構造の変化を理解している。 b:交易の拡大による諸地域の変化のうち、最も大きな変化について根拠を示しながら自分なりに評価し、表現している。17～18 正規のヨーロッパの社会構造の変化に大きな影響を与えたものは何かについて考察し、自分の言葉で表現している。 c:アジア諸地域間の交流について主体的に追及しようとしている。17～18 世紀のヨーロッパの社会構造の変化を主体的に追及しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度